

月刊 いちえふ。

2016年
5月号

1 FOR ALL JAPAN 事務局

とびっくす

雨天時は車が停止するまでの距離が長くなります

梅雨の季節が近づいてきました。濡れた路面ではブレーキをかけた時に停止するまでの距離が通常よりも長くなります。タイヤの摩耗が激しい場合は早めに交換を行い、雨の日はスピードを控えめにしましょう。

花の名所スタンプラリーをご紹介します

福島県内約200カ所の花の名所をめぐる「花の王国ふくしま キピタン フラワースタンプラリー2016」が6月末まで開催中。詳しくは、下記サイトへ！
<http://hana-fukushima.jp/>

熱中症対策は5月から！水分補給を心掛けましょう

5月は、身体がまだ気温や湿度に慣れていないこともあり、夏ほど気温が高くなっても熱中症には注意が必要です。こまめに水分補給をして、熱中症にかからないように十分に対策を行いましょう。

1Fを守る仲間たち 08

みんなの協力で仕事がうまくいく大切なのはコミュニケーション

門馬 浩章さん

株式会社アトックス
福島復興支社 設備工事事務 設備運転課 課長

富澤 淳也さん

株式会社アトックス
福島復興支社 設備工事事務 設備運転課 班長

1Fの廃炉に向けて、大きな課題の一つが汚染水の処理。この課題を解決するために、放射性物質が含まれた滞留水から、放射性物質を取り除くための機械・設備がいくつも導入されています。今回は、そんな設備の運転を行っている株式会社アトックスの富澤淳也さんと門馬浩章さんに、仕事の内容や大切にしている点をうかがいました。

—— どのようなお仕事をしていますのですか。

富澤さん：建屋にたまった滞留水がきちんと処理されているかどうか、24時間3交代で設備をチェックしています。お聞きになったことがあると思いますが、現在は、キュリオ、サリーという設備で滞留水からセシウム、ストロン

門馬さんは1981年入社。門馬さんが1Fに入ったのは震災後すぐの2011年5月中旬。現在は、1Fで働く108名の健康や作業内容を管理するのが主な仕事。ふだんは、広野町内(自宅)から常磐線広野駅前にある事務所に通っている



富澤さんは2000年入社。震災前から2Fの定期検査の業務をしており、タービンの設備を分解したあとの洗浄・除染現場の管理を担当していた。現在は13名を束ねる班長として、汚染水処理の前線で活躍している

チウムを取り除き、さらにアルプスという設備でトリチウム以外の62種類の放射性物質を取り除いています。

新しい設備が次々に入るので技術のレベルを保つことが大切

—— 当初は、不具合もよく起きたと報道されていました。

富澤さん：今はかなり順調に進むようになりました。それ

でも、処理のために炭酸ソーダ、苛性ソーダ、塩酸などの薬品を入れていますので、配管が詰まりやすいのです。そんなときは警報音が鳴るので、設備をいったん止めて詰まりを解消する作業が必要になります。

また、たまに設備の不調で、繰り返し異常警報が出ることもあります。そんなときは、対策をしたのちに、「さあ、今度はうまくいってほしい」と願う気持ちになりますね。異常警報が鳴らずにきちんとポンプが動き出したときは、ホッとします。

—— 仕事で大切にしていることはありますか。

門馬さん：私をはじめ、社員には双葉郡出身者が多くい



滞留水の処理は復興に向けた重要な仕事。チームメンバーとコミュニケーションをとりながら日々作業に取り組んでいる

1Fを守る仲間たち 09

サッカー選手も作業員の方々も おいしい料理を食べてほしい

にし よしてる
西 芳照さん

株式会社DREAM24 代表取締役
Jヴィレッジ ハーフタイムシェフ

廃炉作業のベースキャンプとして利用されているJヴィレッジ。そこにある食堂「ハーフタイム」のシェフである西芳照さんは、食堂を運営する株式会社DREAM24の社長でもあり、サッカー日本代表の海外遠征に帯同するシェフでもあります。そんな西さんに、震災当時のご苦労や、Jヴィレッジで食事を提供する思いをうかがいました。

—— 震災後にJヴィレッジに戻ろうと思ったきっかけは？

門馬さん・富澤さんのお勤め先

株式会社アトックス

1980年、アトックスの前身である株式会社ビル代行から原子力部門が分離され、株式会社原子力代行が設立。1993年、社名が株式会社アトックスに変わる。原子力発電所のメンテナンスや放射性物質に関わる業務を行っている。震災後は、1Fで滞留水処理装置の運転、放射線管理業務のほか、周辺地域の除染にも取り組んでいる。

るので、この仕事にはやりがいを感じています。滞留水の処理というのは、地元の人に安心を与えると同時に、復興に向けた重要な仕事だと思うからです。

富澤さん：なんといってもコミュニケーションです。一人ではすべてを完璧にこなすことはできません。私たちの仕事は1班13名で3交代なので、班内での協力体制がとれていないと設備の運転はうまくいかないのです。

操作室には設備が多くあるので、作業員は分かれて配置されています。そこで、私自身に余裕があるときは、あちこちに顔を出してなるべく会話を交わすようにしています。自分の経験をもとにして、「この設備はこういうクセがあるので注意するように」と指示することもあります。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL : <http://1f-all.jp/interview/08/>

西さん：震災後、2、3カ月ほどして、Jヴィレッジの調理場の片づけに戻った時のことです。そこで見たのは作業員の方々の過酷な状況でした。仕事から帰ってくると、毛布1枚にくるまって、薄暗い階段や踊り場で寝ているのです。

1962年生まれ。1997年のJヴィレッジ開業とともにレストランで働きはじめる。1999年には天皇后両陛下がいらっしゃったときの料理を手がけ、その後、総料理長に就任。2004年からはサッカー日本代表の帯同シェフとなり、代表選手や歴代監督からの信頼も厚い



もちろん、温かい食べ物などありません。私は東京で暮らしているのに、この人たちは私の故郷の復興のためにこんなに苦労して頑張ってくれていると知って、大きなショックを受けました。

その状況を見て、作業員の方々にせめて温かい食べ物を出したいという要望を提出し、Jヴィレッジ内に食堂を出すことを認めてもらったのです。

—— 仕事にやりがいを感じるのはどういうときですか。

西さん：現場から疲れて戻ってきた人が、温かい食事をとって元気を取り戻すのを見るときですね。実際に、精神的にかなり参って「帰りたい」と口にしていた人が、うちでご飯を食べて「また明日から働く気になったよ」と言ってくれたときは、本当にこの仕事を選んでよかったと思いました。

—— サッカー日本代表の帯同シェフとしてもご活躍ですね。

西さん：ドイツのワールドカップ予選に初めて帯同し、南アフリカ、ブラジルのワールドカップにも行きました。今年ブラジルで開催されるオリンピックにも帯同予定です。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL: <http://1f-all.jp/interview/09/>

西さんのお勤め先

株式会社DREAM24

2011年12月に西さんが設立。現在は、Jヴィレッジ内の「ハーftime」のほか、広野町にあるレストラン「アルパインローズ」を運営し、地元出身の人を中心に24人が働く。さらに、2016年3月5日に広野町にオープンした商業施設「ひろのてらす」では、フードコート「くっちいーな」を出店している。

いちえふのいま

シャワー室が設置されました

作業員のみなさまのさらに働きやすい環境を整えるため、大型休憩所3階にシャワー室を設置しました。ぜひご利用ください。また、4月10日に開かれた「福島第一廃炉国際フォーラム」において、1Fで働く4つの作業チームに、内閣総理大臣、経済産業大臣、経済産業副大臣（原子力災害現地対策本部長）名の感謝状が贈られました。2013年に準備工事をはじめた陸側遮水壁は、本年3月31日から凍結を開始。汚染水対策に大きな効果が期待されます。

シャワー室のご利用時間

シャワーは全部で30台。9～16時に利用可。
※タオル、石鹸、シャンプーなどはご持参ください

陸側遮水壁の凍結を開始

1～4号機建屋を取り囲むようにして設置された陸側遮水壁のうち、海側全体と山側の一部の凍結を3月31日から開始。

敷地の舗装（フェーシング）工事について

路面における線量を減らすとともに、雨水がしみこむことを防ぐため、3月までに予定の9割の舗装を終了。



固体廃棄物の保管計画について

廃材、廃コンクリートなど、今後10年間に発生する固体廃棄物は、約74万立方メートルに達するため、容積を減らしつつ、今後の保管用施設の建設を計画。増設雑固体廃棄物焼却設備（および焼却炉前処理設備）、減容処理設備などが建設予定。

感謝状の授与

廃炉作業において大きな功績をあげたとして、1Fで働く作業チームに、内閣総理大臣から1チーム、経済産業大臣から1チーム、経済産業副大臣（原子力災害現地対策本部長）から2チームに感謝状を授与。

1Fの安全統一ルール22カ条 【第2回】

昨年、過去の災害事例をもとに1F内で守るべき規定として、「1F安全統一ルール22カ条」を作り、運用を始めました。このコーナーでは、2カ条ずつ内容を紹介しています。

●第3条「TBM-KYの確実な実施」

TBM-KY（ツールボックスミーティング・危険予知）とは、作業開始前にチームでその日の作業内容や段取りなどを話し合い、

そこから問題点や危険を予知して、安全に対処できるように指示伝達を行うことです。現場で作業をする前にTBM-KYを実施することは、安全確保の第一歩になりますので、徹底してください。

次に具体的なTBM-KYで実施すべき内容を示しますので、参考にしてください。

- ・原則、現地で実施（高線量エリアは除く）
- ・休憩所などで実施した場合は、現地で再確認
- ・実施者・責任者の明確化
- ・一人KY、振り返り（アフター）KYの実施

●第4条「構内道路制限速度遵守」

構内で車を運転すると、ついついスピードを出しすぎて、ヒヤリとした方も多いのではないのでしょうか。1F構内の道路には制限速度が決められています。主要幹線道路は40km/h、工事エリア近傍道路・坂道道路では20km/h、鉄板の段差がある所は徐行運転となります。これらの制限速度を守りつつ、安全運転・安全作業に取り組んでください。



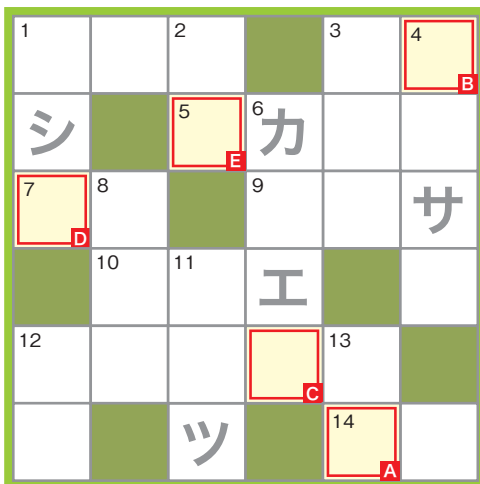
いこいの時間

〈クロスワード〉

今月はクロスワードです。タテとヨコのキーをヒントの手がかりにして、A～Eの印がついた箇所の文字を並べると、答えの言葉になります。みなさん、おわかりになりますか？

タテのキー

1. 古本のこと
2. 5月の和菓子といえば「かしわ〇〇」
3. 風邪や花粉症に鼻と口を覆います
4. お巡りさんは「〇〇〇〇官」
6. 芝居が始まること
8. デジカメのカメは何のこと？
11. 出世しない＝〇〇〇が上がらない
12. 福島市にある山は「吾妻小〇〇」
13. 嫌い⇔〇〇



ヨコのキー

1. 5月5日は「〇〇〇〇の日」
3. 勝ち⇔〇〇
5. コレを汲みあげるのが井戸
7. 余ったヒマな時間
9. 戦いの古い言い方
10. 年下は目下、年上は？
12. いわき市のスパリゾートハワイアンズで楽しむハワイの民族舞踊
14. 秋の風物詩、二本松市の「〇〇人形」



答え

A	B	C	D	E

応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

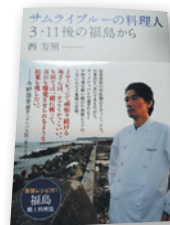
「ヴィレッジ受付に設置してある応募箱に必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。」

応募箱設置期間 5月10日～5月24日まで
(設置時間: 9時～17時)

- *応募用紙は応募箱横に設置しています。
- *当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

今号のプレゼント

「1Fを守る仲間たち」に登場いただいた西さんの著書『サムライブルーの料理人 3・11後の福島から』(白水社)です。



ウェブサイトの紹介

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員みなさんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えたいという思いで2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、いちえふで働く作業員みなさまを応援していきます。



<http://1f-all.jp/>

月刊 いちえふ。
2016年5月号

【発行日】2016年5月10日
【発行】

1 FOR ALL JAPAN 事務局
(東京電力ホールディングス SC室)
【お問い合わせメールアドレス】
info@1f-all.jp